

# 岩井地区コミュニティセンター建設工事（機械）

図番	図面名称	縮尺			
M-01	表紙・図面リスト	-	M-11	換気設備 機器リスト、計算書	-
M-02	機械設備工事特記仕様書（1）	-	M-12	換気設備 屋内ダクト配管図	S=1:100
M-03	機械設備工事特記仕様書（2）	-	M-13	114条区画 平面図	S=1:100
M-04	衛生器具リスト、樹リスト	-			
M-05	給排水衛生設備 屋外配管図	S=1:150			
M-06	給排水衛生設備 屋内配管図	S=1:100			
M-07	給排水衛生設備 調理室、便所廻り配管図	S=1:50			
M-08	冷暖房設備 機器リスト	-			
M-09	冷暖房設備 屋内配管図	S=1:100			
M-10	冷暖房設備 屋内配線図	S=1:100			

	岩井地区コミュニティセンター建設工事（機械）	表紙・図面リスト	SCALE	図面縮小率
			-	A3 70.7%
M-01	有限会社塚田隆建築研究所	1級建築士登録第168701号 塚田 隆		2026.01

# 機械設備工事仕様書

## I. 工事概要

1 工事場所 岩美町大字岩井地内

## 2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	岩井地区コミュニティセンター	W造	1	461.45	( 1 ) 項 口	
2					( ) 項	
3					( ) 項	
4					( ) 項	
5					( ) 項	

## 3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空調設備								
◎ 冷暖房設備		○						
◎ 換気設備		○						
● 排煙設備								
◎ 自動制御設備		○						
◎ 衛生器具設備		○						
◎ 給水設備		○					○	
◎ 排水設備		○					○	
◎ 給湯設備		○						
◎ ガス設備		○					○	
● 浄化槽設備								
● 消火設備								
● さく井設備								
● 床暖房設備								

## 4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

◎印の付いたものを適用する。

項目	設備概要
● 空調設備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
◎ 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式 ◎ パッケージ方式
● 暖房設備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 ( ● 局所式 ● 中央式 ) ● 床暖房
◎ 熱源	◎ 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
◎ 主要熱源機器	● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直置き吸収式冷水機 ● 小形吸収式冷水機ユニット ● バイオマスボイラー ◎ ヒートポンプパッケージエアコン ● ルームエアコン ● 温風暖房機 ● FF暖房機 ● ベレツストーブ
換気設備	◎ 第一種 ● 第二種 ◎ 第三種
排煙設備	● 機械排煙 ( 適用法規 ● 建基法 ● 消防法 )
自動制御設備	◎ 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
◎ 給水設備	給水方式 ◎ 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式
	水源 ◎ 水道水 ● 井水
	排水方式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 ( ● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水 )
	放流先 汚水 ◎ 公共下水道 ● 浄化槽 雑排水 ◎ 公共下水道 ● 浄化槽 雨水 ● 公共下水道 ◎ 側溝 ● 河川
◎ 排水設備	浄化槽 処理方式 ● 小規模合併 ● 合併 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
	◎ 給湯設備 ◎ 局所式 ( ◎ ガス ● 油 ◎ 電気 ) ● 中央式 ( ● 油 ● ガス )
● 消火設備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置
	● 不活性ガス消火 ( ● 窒素 ● 窒素系 ) ● ハロゲン化物消火 消火器
◎ ガス設備	● 都市ガス ( MJ/Nm <sup>3</sup> ) ◎ 液化石油ガス

## II. 特記仕様

### 1 一般事項

(1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて◎印の標準仕様による。

◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)

◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)

◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和4年版)」(以下「標準図」という。)

(2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。

(3) 電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

### 2 特記事項

(1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は◎印の付いたものを適用する。

◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。◎印と※印の付いた場合は両方を適用する。

(3) 一般共通事項のうち( )項は、●建築 ●電気設備 工事仕様書による。

項目	特記事項																						
1 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。																						
2 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。																						
3 発生材の処理等	引渡しを要するもの ※無し ● 有り ( ) 特別管理産業廃棄物 ※無し ● 有り ( ● 配管用保温材 ● ) アスベスト含有設備資材(ガスケット、パッキン、たわみ継手等)は関係法令に従い適切に処理を行う。 再生資源の利用を図るもの ※無し ● 有り ( ● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ● ) ● 建設発生木材 ● )																						
4 機材等	イ) 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。 ロ) (一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。																						
5 機材の品質・性能証明	JISマーク等のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(c)により、品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。																						
6 施工図等	提出した施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。																						
7 完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)・同解説 建築設備編」及び監督職員の指示による。下記のもの提出する。 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データ・ネガの提出</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工程毎</td><td>※1部 ●部</td><td>●要 ●不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※2部 ●部</td><td>●要 ●不要</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データ・ネガの提出	工事写真	カラーサービス判	各工程毎	※1部 ●部	●要 ●不要	完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部 ●部	●要 ●不要							
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データ・ネガの提出																			
工事写真	カラーサービス判	各工程毎	※1部 ●部	●要 ●不要																			
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部 ●部	●要 ●不要																			
8 完成図等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>名 称</th><th>部 数</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ 完成原因図</td><td>完成図 ※原紙 ※CADデータ ※PDFデータ 施工図 ※原紙 ●CADデータ ●PDFデータ</td><td>1部</td></tr><tr><td>※ 完成図 2つ折製本</td><td>※ 完成原因図の陽面複写紙 ※ 完成原因図の陽面複写紙(縮小版) ● 施工原因図の陽面複写紙</td><td>※ 2部 ●部</td></tr><tr><td>※ 完成図 2つ折製本</td><td>※ 完成原因図の陽面複写紙 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書</td><td>※ 2部 ●部</td></tr><tr><td>※ 保守用説明書 (A4版ファイル)</td><td>※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表</td><td>※ 2部 ●部</td></tr><tr><td>※ 保証書</td><td></td><td>1部</td></tr><tr><td>※ 官公署の届出書類</td><td></td><td>1部</td></tr></tbody></table>	区分	名 称	部 数	※ 完成原因図	完成図 ※原紙 ※CADデータ ※PDFデータ 施工図 ※原紙 ●CADデータ ●PDFデータ	1部	※ 完成図 2つ折製本	※ 完成原因図の陽面複写紙 ※ 完成原因図の陽面複写紙(縮小版) ● 施工原因図の陽面複写紙	※ 2部 ●部	※ 完成図 2つ折製本	※ 完成原因図の陽面複写紙 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 2部 ●部	※ 保守用説明書 (A4版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ●部	※ 保証書		1部	※ 官公署の届出書類		1部	
区分	名 称	部 数																					
※ 完成原因図	完成図 ※原紙 ※CADデータ ※PDFデータ 施工図 ※原紙 ●CADデータ ●PDFデータ	1部																					
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成原因図の陽面複写紙 ※ 完成原因図の陽面複写紙(縮小版) ● 施工原因図の陽面複写紙	※ 2部 ●部																					
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成原因図の陽面複写紙 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 2部 ●部																					
※ 保守用説明書 (A4版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ●部																					
※ 保証書		1部																					
※ 官公署の届出書類		1部																					
9 技能士の適用	下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。また、そのものが技能士であることが分かる名札(下図参考)を常時着用すること。 ◎ 配管 ( ● 1級 ◎ 2級 ) ◎ 熱絶縁施工 ( ● 1級 ◎ 2級 ) ◎ 冷凍空調和機器施工 ( ● 1級 ◎ 2級 ) ● 建築板金 ( ● 1級 ● 2級 )  《技能士名札参考図》 <table border="1"><tr><td>55 mm</td><td><table border="1"><tr><td>技能士</td><td>技能士の職種により色を変えることも可</td></tr><tr><td>職種 作業名</td><td>技能士の種別</td></tr><tr><td>級別 1級</td><td>技能士の種別</td></tr><tr><td>氏名 ○山○夫</td><td>技能士本人の住所</td></tr><tr><td>勤務先 ○○工務店</td><td>技能士本人の住所</td></tr><tr><td>自宅 鳥取市</td><td>技能士本人の住所</td></tr><tr><td>技能士番号 00-0-000-00-0000</td><td>名札の発行元</td></tr><tr><td>発行 ○○○○○○○○</td><td>名札の発行元</td></tr></table></td><td>90 mm</td></tr></table>	55 mm	<table border="1"><tr><td>技能士</td><td>技能士の職種により色を変えることも可</td></tr><tr><td>職種 作業名</td><td>技能士の種別</td></tr><tr><td>級別 1級</td><td>技能士の種別</td></tr><tr><td>氏名 ○山○夫</td><td>技能士本人の住所</td></tr><tr><td>勤務先 ○○工務店</td><td>技能士本人の住所</td></tr><tr><td>自宅 鳥取市</td><td>技能士本人の住所</td></tr><tr><td>技能士番号 00-0-000-00-0000</td><td>名札の発行元</td></tr><tr><td>発行 ○○○○○○○○</td><td>名札の発行元</td></tr></table>	技能士	技能士の職種により色を変えることも可	職種 作業名	技能士の種別	級別 1級	技能士の種別	氏名 ○山○夫	技能士本人の住所	勤務先 ○○工務店	技能士本人の住所	自宅 鳥取市	技能士本人の住所	技能士番号 00-0-000-00-0000	名札の発行元	発行 ○○○○○○○○	名札の発行元	90 mm			
55 mm	<table border="1"><tr><td>技能士</td><td>技能士の職種により色を変えることも可</td></tr><tr><td>職種 作業名</td><td>技能士の種別</td></tr><tr><td>級別 1級</td><td>技能士の種別</td></tr><tr><td>氏名 ○山○夫</td><td>技能士本人の住所</td></tr><tr><td>勤務先 ○○工務店</td><td>技能士本人の住所</td></tr><tr><td>自宅 鳥取市</td><td>技能士本人の住所</td></tr><tr><td>技能士番号 00-0-000-00-0000</td><td>名札の発行元</td></tr><tr><td>発行 ○○○○○○○○</td><td>名札の発行元</td></tr></table>	技能士	技能士の職種により色を変えることも可	職種 作業名	技能士の種別	級別 1級	技能士の種別	氏名 ○山○夫	技能士本人の住所	勤務先 ○○工務店	技能士本人の住所	自宅 鳥取市	技能士本人の住所	技能士番号 00-0-000-00-0000	名札の発行元	発行 ○○○○○○○○	名札の発行元	90 mm					
技能士	技能士の職種により色を変えることも可																						
職種 作業名	技能士の種別																						
級別 1級	技能士の種別																						
氏名 ○山○夫	技能士本人の住所																						
勤務先 ○○工務店	技能士本人の住所																						
自宅 鳥取市	技能士本人の住所																						
技能士番号 00-0-000-00-0000	名札の発行元																						
発行 ○○○○○○○○	名札の発行元																						

## 一般共通事項

10 他工事との取合

11 工事用水、電力

12 表示板

13 工事仮設物

14 土工

15 耐震措置

16 図形等の表示

17 電気容量及び機器表示

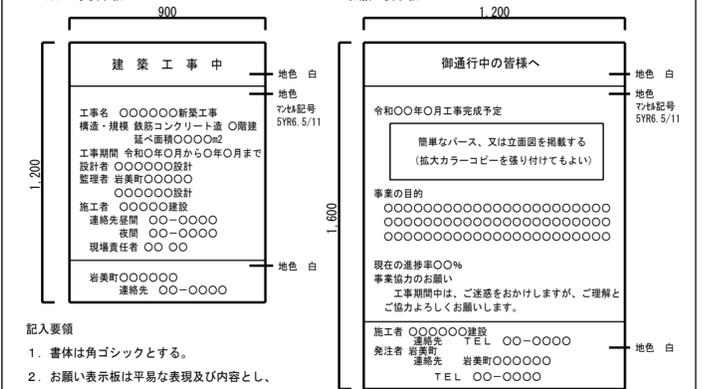
18 保温工事

合併工事の場合は工種区分とする。				
他工事との取り合い		建築	電気設備	機械設備
◎コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入	●	●	※
	補 強	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強		※	●	●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)		●	※	●
● 軽重量骨壁のボックス取付用下地		●	※	●
● 埋込分電盤・端子盤・フルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠	●	※	●
	補 強	※	●	●
● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	●	●
◎埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切 り 込 み	●	●	※
	補 強	※	●	●
● 自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※	●	●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びピット(蓋を含む)		※	●	●
◎天井点検口		※	●	●
◎機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	●	●	※
	屋 上 設 置	※	●	●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	●	※
◎機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線		●	◎	◎

本工事に必要な工事用水、電力などの費用はすべて請負者の負担とする。

設ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。)

※ 工事表示板 ● お願い表示板



記入要領

- 書体は角ゴシックとする。
- お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

構内に作ることが ※出来る ●出来ない

(ア) 埋め戻し土 ◎ 根切土のなかの良質土 ( ◎ コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類 )

● 山砂の類 ( )

● 真砂土 ( )

(イ) 建設発生土処分 ◎ 構外に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積

「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年版」(建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、

施工は「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・(独)建築研究所監修)による。

設計用水平地震力は、機器の荷重(KN)に、地域係数、設計用標準水平震度を乗じたものとする。

図面に特記のない場合、設計用標準水平震度は次による。

設置場所	機器種別	● 特定の施設		● 一般の施設	
		●重要機器	●一般機器	●重要機器	●一般機器
屋上・塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

重要機器 ● 防災機器 ● 火気を使用する機器 ● タンク類

注) 設計用鉛直地震力は水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に動くものとする。

機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。

電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。

機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。

- 冷温水管 ( ● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● )
- 蒸気管 ( ● ロックウール ● グラスウール ● )
- ◎ 給水管 ( ● ロックウール ◎ グラスウール ◎ ポリスチレンフォーム ◎ 空隙壁内 保温チューブ厚10t )
- ◎ 排水管 ( ● ロックウール ◎ グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● 合成樹脂製シート )
- ◎ 給湯管 ( ● ロックウール ◎ グラスウール ◎ 空隙壁内 保温チューブ厚10t )
- 消火管 ( ● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● )
- ◎ ダクト ( ◎ ロックウール ◎ グラスウール ● )
- ◎ 燃焼熱源等機械室内の配管 ( ● ロックウール ◎ グラスウール )
- ◎ 全熱交換機の給気ダクト ( ◎ 機器外気側 ◎ 機器室内側 ) は保温(グラスウール25mm厚)する。
- ◎ 冷媒管の保温外装 屋内 ( ● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート ● )
- 屋外 ( ◎ 樹脂製化粧ケース ◎ SUS鋼板 ● )

一般 共通 事項	<p>① 網管類の防食処置</p> <p>20 絶縁継手</p> <p>21 防振継手</p> <p>22 伸縮管継手</p> <p>② 塗装</p> <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)</p> <p>(ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く)</p> <p>(イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分</p> <p>(エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分</p> <p>(カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <p>● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所( )</p> <p>24 ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>25 溶接配管の検査</p> <p>③ 埋設表示</p> <p>④ 支持金物・固定金具</p> <p>⑤ 総合調整</p> <p>29 アスベスト含有建材の処理</p>	<p>地中埋設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ベトロラム系</li> <li>◎ プレチルゴム系</li> <li>● 熱収縮チューブ及びシート</li> </ul> <p>● 標準図 施工3 ( ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート )</p> <p>※ 合成ゴム製(球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形(ステンレス製)</p> <p>※ ベローズ形 ● スリープ形</p> <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)</p> <p>(ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く)</p> <p>(イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分</p> <p>(エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分</p> <p>(カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <p>● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所( )</p> <p>呼び径75S以上の継手は ● 溶接継手 ● ハウジング形継手 ● フランジ接合</p> <p>● ガス配管 ● 冷水配管 ● 冷却水配管</p> <p>非破壊検査の適用( ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 )</p> <p>抜 取 率 ( ● 標準仕様書による ● % )</p> <p>◎ 地中埋設標を指示する箇所に設ける。</p> <p>◎ 埋設表示用テープを埋設する。( ◎ ガス管 ◎ 屋外給水管 ● )</p> <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融垂鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <p>◎ 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質</p> <p>● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質 ( ● 一般飲料水適否検査 ● 残留塩素 )</p> <p>建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。</p> <p>処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</li> <li>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 (測定時期: 測定場所: 測定点: )</li> <li>● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。</li> <li>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</li> </ul> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にない補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄筋探査を行う(超音波)。</li> </ul> <p>足場の設置は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」(厚労省 基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て等の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。</p> <p>実施する。</p> <p>工事的目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするための火災保険等に参加する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまでとする。)</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <p>◎ 空調用機器 ( エアコン ) ● 衛生器具 ( )</p> <p>● 断熱材 ( ) ● 配管材 ( ● 再生硬質塩化ビニル管 )</p> <p>対象工事 対象工事</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲										<p>12 ファンコイルユニット</p> <p>13 ダンパー</p> <p>⑬ ダクト</p> <p>⑭ 吹出口・吸込口</p> <p>16 チャンパー等</p> <p>⑮ 消音内貼り</p> <p>18 瞬間流量計及び流量測定口</p> <p>19 定風量・変風量ユニット</p> <p>20 温度計</p> <p>21 冷水管の空気抜き</p> <p>22 空調機用トランプ</p> <p>23 銅板製煙道</p> <p>24 オイルサービスタンク</p> <p>25 地下オイルタンク</p> <p>26 油面制御装置</p> <p>27 フィルター等付属品</p> <p>28 パッケージ空調機の能力表示</p> <p>29 防振吊り及び支持金物</p>	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁 ( ● ダイワラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形 ) を取付ける。</p> <p>イ) 防煙ダンパー ※ 電気式 遠隔復帰式 ●</p> <p>ロ) ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●</p> <p>電気式防煙ダンパーの動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。</p> <p>※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト</p> <p>● 長方形ダクト ※ コーナーボルト工法 ( ● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法 )</p> <p>● 長辺1500mmを超えるもの ※ アングルフランジ工法</p> <p>● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚銅板製とする。</p> <p>ボックス ※ 垂鉛鉄板製 ● グラスウール製</p> <p>シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工47)を参考とする。</p> <p>接続するダクトが施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>線状吹出口には、(長さ+10)×300×300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。</p> <p>吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。</p> <p>内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口(原則400×600)を取付ける。</p> <p>形式はピトー管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式</p> <p>下記の箇所、若しくは図示により取付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 冷水水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● ユニツト形空気調和機の冷水水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● メカニカル形 ● 風速センサー形</li> </ul> <p>機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計</p> <p>空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。</p> <p>※ 手動 ● 自動</p> <p>自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工36(g))</p> <p>機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。</p> <p>トランプ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保保型 ● FRP製 ● SUS製</p> <p>材質及び厚さ ● SS400 ( ※ 3.2mm ● 4.5mm ) ● SUS ( ※ 1.5mm ● 2.0mm)</p> <p>煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける</p> <p>煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>油面計はゲージ式(側圧計)とする。</p> <p>据付け方法は標準図 ● 施工30(二重殻タンク・タンク室無し) ● 施工31(タンク室有り)</p> <p>タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト</p> <p>基礎杭 ※ 不要 ● 要 ( ※ 別途工事 ● 本工事 )</p> <p>土留め工事 ● 要 ● 不要</p> <p>タンクローリー用アース端子を設ける。</p> <p>油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機器表特記による。</li> <li>● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。</li> </ul> <p>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</p> <p>標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷水水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。</p>	<p>⑯ 排水設備</p> <p>⑰ 給湯設備</p> <p>10 消火設備</p> <p>⑱ ガス設備</p> <p>12 浄化槽設備</p>	<p>① 配管材料</p> <p>(ア)屋内汚水管 ◎ VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管</p> <p>(イ)屋内雑排水管 ◎ VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 耐火二層管</li> </ul> <p>(ウ)ポンプ排水管 ● VP(水適用) ● H1VP ● 排水用塩ビライニング鋼管(圧送排水管用継手)</p> <p>(エ)通気管 ◎ VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(オ)屋外排水管 ◎ VP ● RF-VP ◎ VU(地中) ● REP-VU(地中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● RS-VU ● 銅形管 ● コンクリート管</li> </ul> <p>3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>※ 行わずに済ませてもよい ● 図示の系統のみ行なう</p> <p>2 満水試験継手</p> <p>3 バイブシャフト内配管の保温</p> <p>4 煙試験</p> <p>① 配管材料</p> <p>◎ SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管</li> </ul> <p>湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <p>※ JIS又はJV5K ● JIS又はJV10K</p> <p>1 配管材料</p> <p>(ア)一般配管 ● SGP(白) ● STPG</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>(ウ)屋外埋設配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>※ 10K ● 16K</p> <p>(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・VIIによる)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 屋内消火栓用(※ 施工しない ● 施工する) ● スプリンクラー用(※ 施工しない ● 施工する)</li> <li>● 連結送水用(※ 施工しない ● 施工する) ● 連結放水用(※ 施工しない ● 施工する)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 屋内消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 2号消火栓</li> <li>● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23</li> </ul> <p>※ 手動 ● 自動手動切替式</p> <p>① 配管材料</p> <p>(ア)一般配管 ※ SGP(白) ● 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ)屋外埋設配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管</p> <p>◎ 親メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準図(施工72)の ● 要領(a) ◎ 要領(b) ● 要領(c)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 標準図(施工73)の ◎ 要領(a) ● 要領(b) ● 図示</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 不要 ◎ 要 ( ※ 別途工事 ◎ 本工事 ) 電気工事業者へ支給</li> </ul> <p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>1 処理種別及び方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小規模合併処理 ( ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式 )</li> <li>● その他性能評価を受けた方式 ( )</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 合併処理 ( ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式 )</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ユニツト型 ● 現場施工型</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m<sup>3</sup>/d</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 自然流下 ● ポンプ排水</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 埋戻し土 ● 砂 ● 根切土の中の良質土</li> <li>● 不要 ● 要(図示による)</li> </ul> <p>※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ポルト式)</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p> <p>2 型式</p> <p>3 処理能力</p> <p>4 放流水の水質</p> <p>5 排水方式</p> <p>6 埋戻し土</p> <p>7 土留め工事</p> <p>8 マンホールふた</p> <p>9 消毒薬</p>																			
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																		
	<p>24 ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>25 溶接配管の検査</p> <p>③ 埋設表示</p> <p>④ 支持金物・固定金具</p> <p>⑤ 総合調整</p> <p>29 アスベスト含有建材の処理</p>	<p>呼び径75S以上の継手は ● 溶接継手 ● ハウジング形継手 ● フランジ接合</p> <p>● ガス配管 ● 冷水配管 ● 冷却水配管</p> <p>非破壊検査の適用( ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 )</p> <p>抜 取 率 ( ● 標準仕様書による ● % )</p> <p>◎ 地中埋設標を指示する箇所に設ける。</p> <p>◎ 埋設表示用テープを埋設する。( ◎ ガス管 ◎ 屋外給水管 ● )</p> <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融垂鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <p>◎ 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質</p> <p>● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質 ( ● 一般飲料水適否検査 ● 残留塩素 )</p> <p>建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。</p> <p>処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</li> <li>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 (測定時期: 測定場所: 測定点: )</li> <li>● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。</li> <li>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</li> </ul> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にない補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄筋探査を行う(超音波)。</li> </ul> <p>足場の設置は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」(厚労省 基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て等の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。</p> <p>実施する。</p> <p>工事的目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするための火災保険等に参加する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまでとする。)</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <p>◎ 空調用機器 ( エアコン ) ● 衛生器具 ( )</p> <p>● 断熱材 ( ) ● 配管材 ( ● 再生硬質塩化ビニル管 )</p> <p>対象工事 対象工事</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲										<p>1 ダクト</p> <p>2 排煙口</p> <p>3 排煙口開放及び復帰方式</p> <p>4 排煙風量測定</p> <p>1 中央監視制御装置</p> <p>2 電源装置</p> <p>③ 温度調節器等</p> <p>④ 計装工事の配線</p> <p>① 大便器</p> <p>② 小便器</p> <p>③ 洗面器具用自動水栓</p> <p>4 和風便器の耐火処理</p> <p>① 量水器</p> <p>② 配管材料</p> <p>3 弁類</p> <p>4 水槽のマンホール</p>	<p>※ 垂鉛鉄板製 ● 銅板製(厚1.6mm)</p> <p>形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形</p> <p>取付け ● 天井取付 ● 壁取付</p> <p>電気式(遠隔操作 ※ 不要 ● 要 )</p> <p>建築設備定期検査業務基準書平成20年版(一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 有り(構成機能は、図示による) ● 無し</li> <li>● 要 ( ● 本工事 ● 別途工事 ) ● 不要</li> </ul> <p>取付高さ ※ 1300mm ● mm</p> <p>◎ 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。</p> <p>◎ 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>※ 節水形 ● 標準形</p> <p>◎ 自動洗浄(自己発電) ● 標準形 ● 洗浄水量4リットル/回以下</p> <p>電源供給方式 ※ AC100V ● 乾電池 ◎ 自己発電</p> <p>標準図(施工66)の(b)</p> <p>◎ 親メーター ※ 借用 ● 買取 ( ※ 直読 ● 遠隔表示 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子メーター ※ 買取 ● 借用 ( ※ 直読 ● 遠隔表示 )</li> </ul> <p>(ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316</p> <p>◎ H1VP ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>(イ)土間配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ◎ H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <p>(ウ)屋外埋設配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ◎ H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 水道配水用ポリエチレン管(75~100A) ● 水道用ポリエチレン二層管(50A以下)</li> </ul> <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。)</p> <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● JIS又はJV5K(受水槽以降の配管に使用) ◎ JIS又はJV10K(公営水道に直結する配管に使用)</li> <li>● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用)</li> </ul> <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。</p>	<p>⑱ ガス設備</p> <p>12 浄化槽設備</p>																				
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																		
<p>1 空気調和設備</p> <p>② 冷暖房設備</p> <p>③ 換気設備</p>	<p>外気条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="4">室内(調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">通風機械室</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>36.0℃</td> <td>%</td> <td>28.0℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-0.4℃</td> <td>%</td> <td>19.0℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ SGP(白) ● SGP-VA ● SGP-PA</p> <p>※ SGP(白) ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管(SUS304)</p> <p>● 架橋ポリエチレン管(ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管(ファンコイル機器接続部に限る)</p> <p>※ SGP(白) ● ステンレス鋼管(SUS304)</p> <p>※ SGP(黒)</p> <p>※ STPG370-Sch40(黒) ● ステンレス鋼管(SUS304)</p> <p>一般配管 ※ SGP(黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>※ 断熱材被覆鋼管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステンレス鋼管 ● SGP-VA ●</li> </ul> <p>※ SGP(白) ◎ VP</p> <p>※ JIS又はJV5K ● JIS又はJV10K</p>		外気条件		室内(調整目標値)						一般		通風機械室		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏季	36.0℃	%	28.0℃	%	℃	%	冬季	-0.4℃	%	19.0℃	%	℃	%	<p>① 量水器</p> <p>② 配管材料</p> <p>3 弁類</p> <p>4 水槽のマンホール</p>	<p>※ 節水形 ● 標準形</p> <p>◎ 自動洗浄(自己発電) ● 標準形 ● 洗浄水量4リットル/回以下</p> <p>電源供給方式 ※ AC100V ● 乾電池 ◎ 自己発電</p> <p>標準図(施工66)の(b)</p> <p>◎ 親メーター ※ 借用 ● 買取 ( ※ 直読 ● 遠隔表示 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子メーター ※ 買取 ● 借用 ( ※ 直読 ● 遠隔表示 )</li> </ul> <p>(ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316</p> <p>◎ H1VP ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>(イ)土間配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ◎ H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <p>(ウ)屋外埋設配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ◎ H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 水道配水用ポリエチレン管(75~100A) ● 水道用ポリエチレン二層管(50A以下)</li> </ul> <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。)</p> <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● JIS又はJV5K(受水槽以降の配管に使用) ◎ JIS又はJV10K(公営水道に直結する配管に使用)</li> <li>● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用)</li> </ul> <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。</p>	<p>⑱ ガス設備</p> <p>12 浄化槽設備</p>
	外気条件		室内(調整目標値)																																		
			一般		通風機械室																																
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																															
夏季	36.0℃	%	28.0℃	%	℃	%																															
冬季	-0.4℃	%	19.0℃	%	℃	%																															

衛生器具リスト

名称	品番 <参考: TOTO>	仕様・付属品 <参考: TOTO>	1階							合計
			MWC	WC	多機能トイレ	掃除道具入れ	調理室	湯沸室	屋外	
洋風大便器	CS597BCS	SH596BAYR (ロータンク、床給水)、TCF5534AU (洗浄機能付暖房便座)、YH650 (紙巻器)	2	5						7
壁掛小便器	UFS900WR	低リップタイプ、自己発電タイプ	4							4
ベッセル式洗面器	LS722C	TLE28SS1W (自己発電タイプ)、TLDP2105JA、TL220D	2	2						4
壁掛手洗器	L250D	TLE28SS1A (自己発電タイプ)、TLDP2105JA (壁排水金具)、壁給水、TL250D (バックハンガー)					1			1
コンパクトバリアフリースイレパック	UADAK21L1A1ADD2BB	大便器、手洗器、洗面器、汚物流し、手すり、背もたれ、電気温水器付、側板共			1					1
バック付掃除用流し	SK22A	T23AEQ20C (レバー式水栓)、T37SGEP (ストラップ)、TN114 (アングル形止水栓)、T9R (バックハンガー)、TK22 (リムカバー)				1				1
化粧鏡	YM6090F	耐食鏡、角形、600×900、固定金具共			1					1
化粧鏡	YM3545F	耐食鏡、角形、350×450、固定金具共	2	2			1			5
手すり	T112CL10	L型手すり、T110D16×2、T110D34 (固定金具・木下地)	1	4						5
手すり	T112CU22	小便器手すり、T110D15×4 (固定金具・木下地)	1							1
ベビーチェア	YKA15S	YPH67109 (床固定金具・木下地)			1					1
ベビーチェア	YKA16S	YPH67109 (床固定金具・木下地)	1	1						2
ベビーシート	YKA25N	YPH67109 (床固定金具・木下地)			1					1
電気温水器	REW25A1BK	先止め式、25L、温度調節タイプ、ウィークリータイマー付、1φ100V1.1kW						1		1
混合水栓	TKS05316J					2				2
混合水栓		本体支給、配管接続のみ本工事						(1)		(1)
自在水栓	T130AUN13C							1		1
洗濯機パン	PWP640N2W	縦引きトラップ共				1				1
洗濯機用横水栓	TW11R					1				1
地下式散水栓	T28UNH13	ボックス B-3共							1	1
流し台	建築工事	本体・設置共、配管接続のみ本工事						(1)		(1)
調理実習台	建築工事	本体 (水栓共)・設置共、配管接続のみ本工事						(3)		(3)
ガスヒューズコック	単口	15A、横形下向						10		10
ガス給湯器 GB	LPG 32号	屋外壁掛形、ガス消費量62.9kW、消費電力117W~1φ100V、配管カバー600H、メインリモコン (リモコンコード15m)、標準付属品一式							1	1
グリーストラップ GT	60L	FRP製、パイプ式、地中埋設専用、ステンレス製蓋 (3.5t)、受け枠、標準付属品共 (参考) HGR-NX70P							1	1

グリーストラップ計算書

・対象: 調理室		・食種: 和食		
・建物面積: 461.45 (m <sup>2</sup> )・利用人数: 50 (人)				
※公民館事業: 1日/15食 地域活動: 1日/50食 その他活動: 1日/50食 最大 1日/50食				
記号	項目	値	単位	根拠
N	1日当たりの利用人数 (食数)	50	(人/日)	施設管理者との打合せによる
Wm'	利用人数1人あたりの使用水量	80	(L/人)	SHASE規格の標準値
t	1日あたりの厨房使用時間	480	(min/日)	施設管理者との打合せによる
k	危険率を用いて定めた時の流量の平均流量に対する倍率	3.5	(倍)	SHASE規格の標準値
gu'	利用人数1人あたりの阻集グリース量の質量	5.5	(g/人)	SHASE規格の標準値
gb'	利用人数1人あたりの堆積残渣の質量	2.0	(g/人)	SHASE規格の標準値
iu	阻集グリースの掃除周期	7	(日)	工業協会の統一設定条件
ib	堆積残渣の掃除周期	30	(日)	工業協会の統一設定条件
c2	定数	0.001	(kg/g)	定数
・流入量Qの算出		・阻集グリース及び堆積残渣の質量の算出		許容流入量 29.2 (L/min)以上 阻集グリース量及び堆積残渣の質量
Q=N・Wm'×(1/t)K =50×80×(1÷480)×3.5 =29.2		Gu=N・gu'×iu・C2 =50×5.5×7×0.001 =1.9 Gb=N・gb'×ib・C2 =50×2×30×0.001 =3		
流入量Q = 29.2 (L/min)	阻集グリースの質量Gu = 1.9 (kg)	堆積残渣の質量Gb = 3 (kg)	阻集グリース及び堆積残渣の質量G = 4.9 (kg)	4.9 (kg)以上

汚水樹寸法リスト

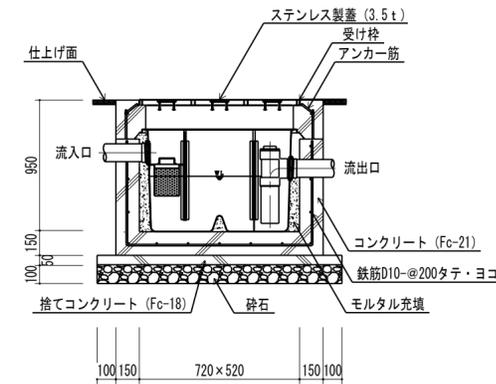
記号	樹種	仕様及び参考寸法	樹深さ (管底)	蓋	
A	小口径樹	100-150、90L	塩ビ製	405	塩ビ蓋
B	"	100-150、90L	"	510	"
C	"	100-150、90Y	"	600	"
D	"	100-150、90Y	"	610	"
E	"	100-150、ST	"	720	"
F	"	100-150、90L	"	840	"
G	"	100-150、90YS	"	900	"
H	"	100-150、90YS	"	950	"
I	"	100-150、90YS	"	1010	"
J	"	100-150、90L	"	1020	"
K	"	100-150、DR	"	1080	防護蓋(T-14)
L	既設公共樹	100-200	"	1440	(既設) 塩ビ蓋
M	"	100-150、90L	"	500	塩ビ蓋
N	"	100-150、90L	"	620	"

※リストに記入の樹深さは参考寸法とする。

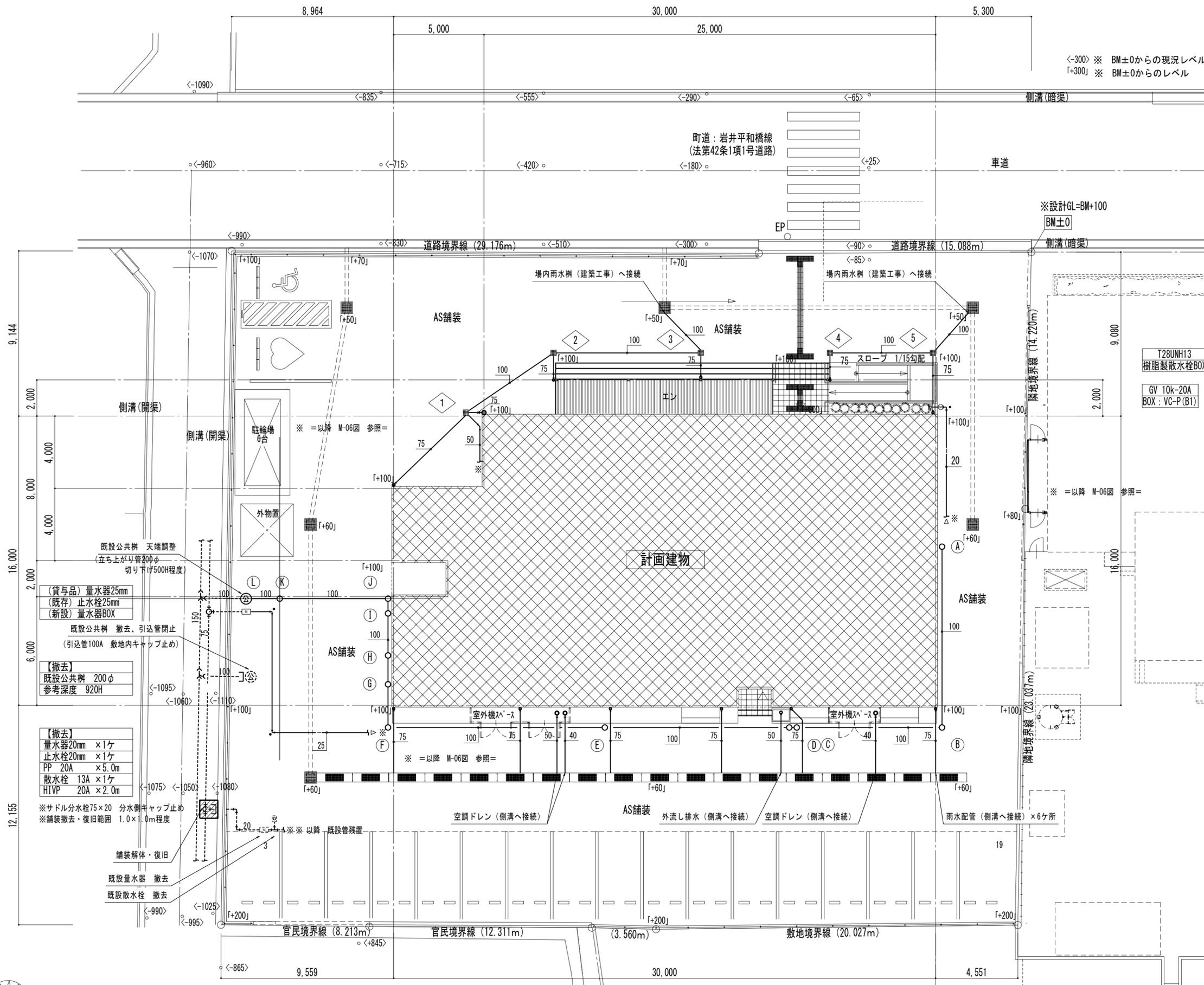
雨水樹寸法リスト

記号	樹種	仕様及び参考寸法	樹深さ (管底)	蓋	
1	ため樹	350×350	既製角樹	300	細目ノスリッパ (T-2)
2	"	350×350	"	360	"
3	"	350×350	"	450	"
4	"	350×350	"	300	"
5	"	350×350	"	360	"

※リストに記入の樹深さは参考寸法とする。



グリーストラップ取付参考断面図

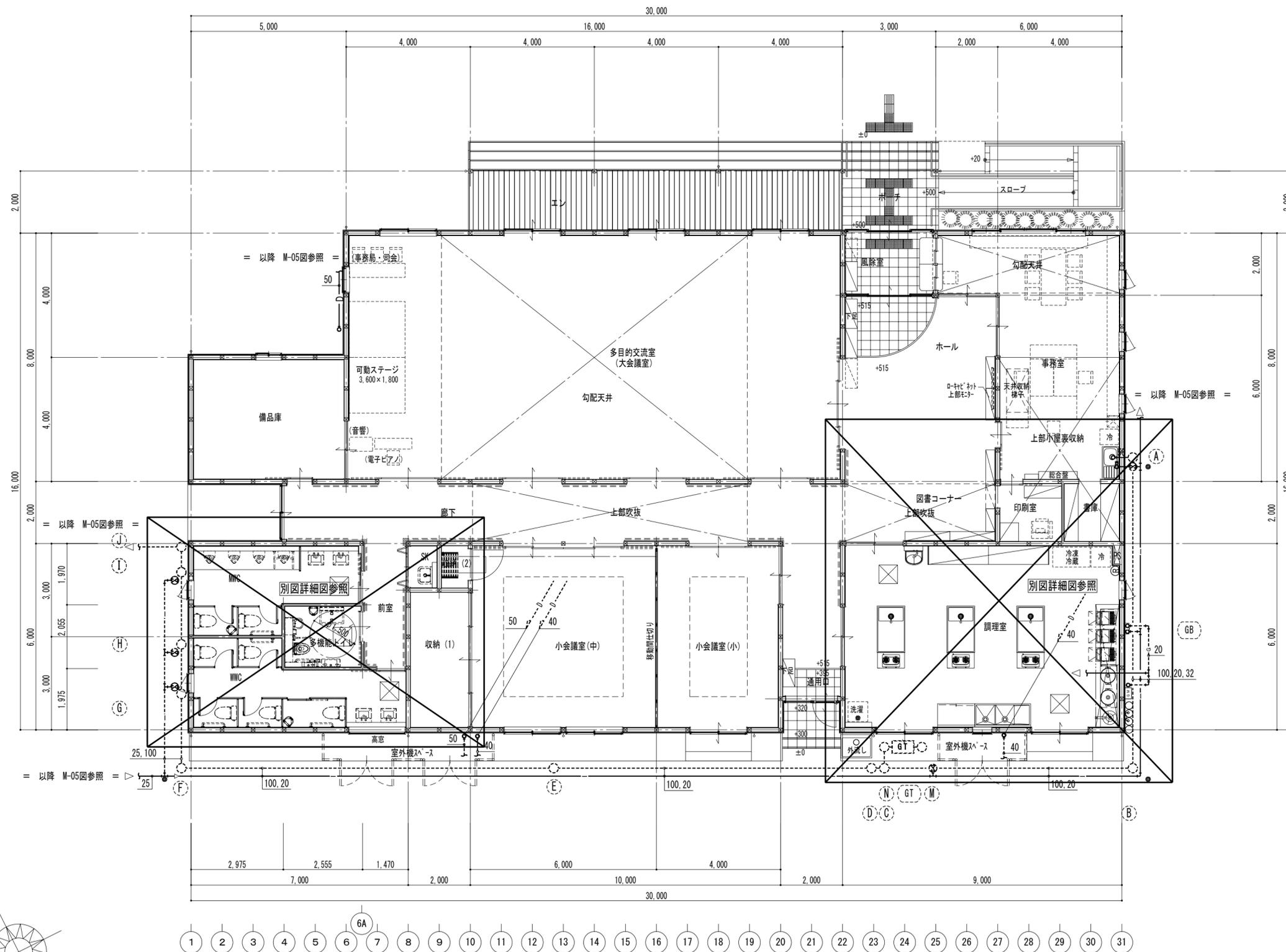


<-300> ※ BM±0からの現況レベル  
 「+300」 ※ BM±0からのレベル

給排水衛生設備 屋外配管図 S=1:150

・・・埋設表示ピンを示す

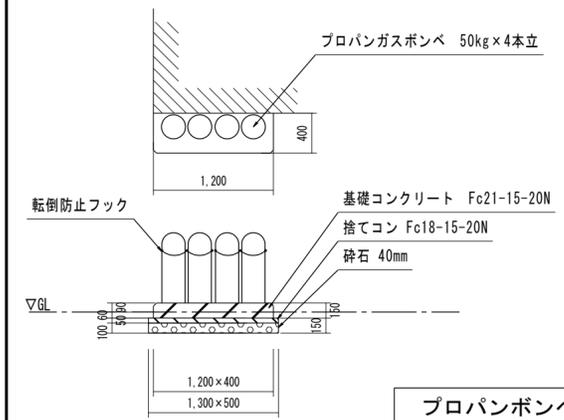
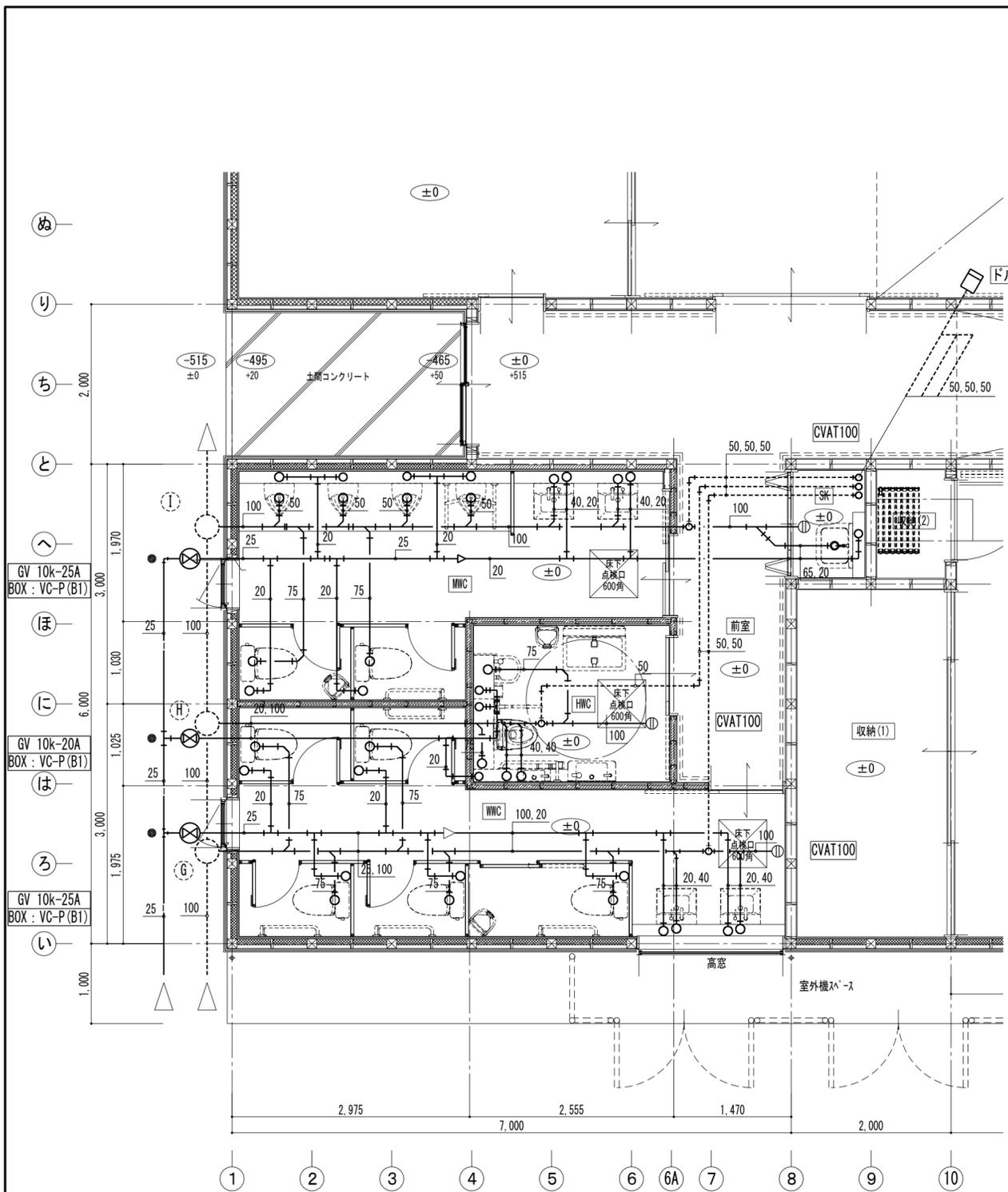
岩井地区コミュニティセンター建設工事(機械)	給排水衛生設備 屋外配管図	SCALE S = 1:150	図面縮小率 A3 70.7%
M-05	有限会社塚田隆建築研究所	1級建築士登録第168701号 塚田 隆	2026.01



そ  
れ  
た  
よ  
か  
わ  
を  
る  
ぬ  
り  
ち  
と  
へ  
ほ  
に  
は  
ろ  
い

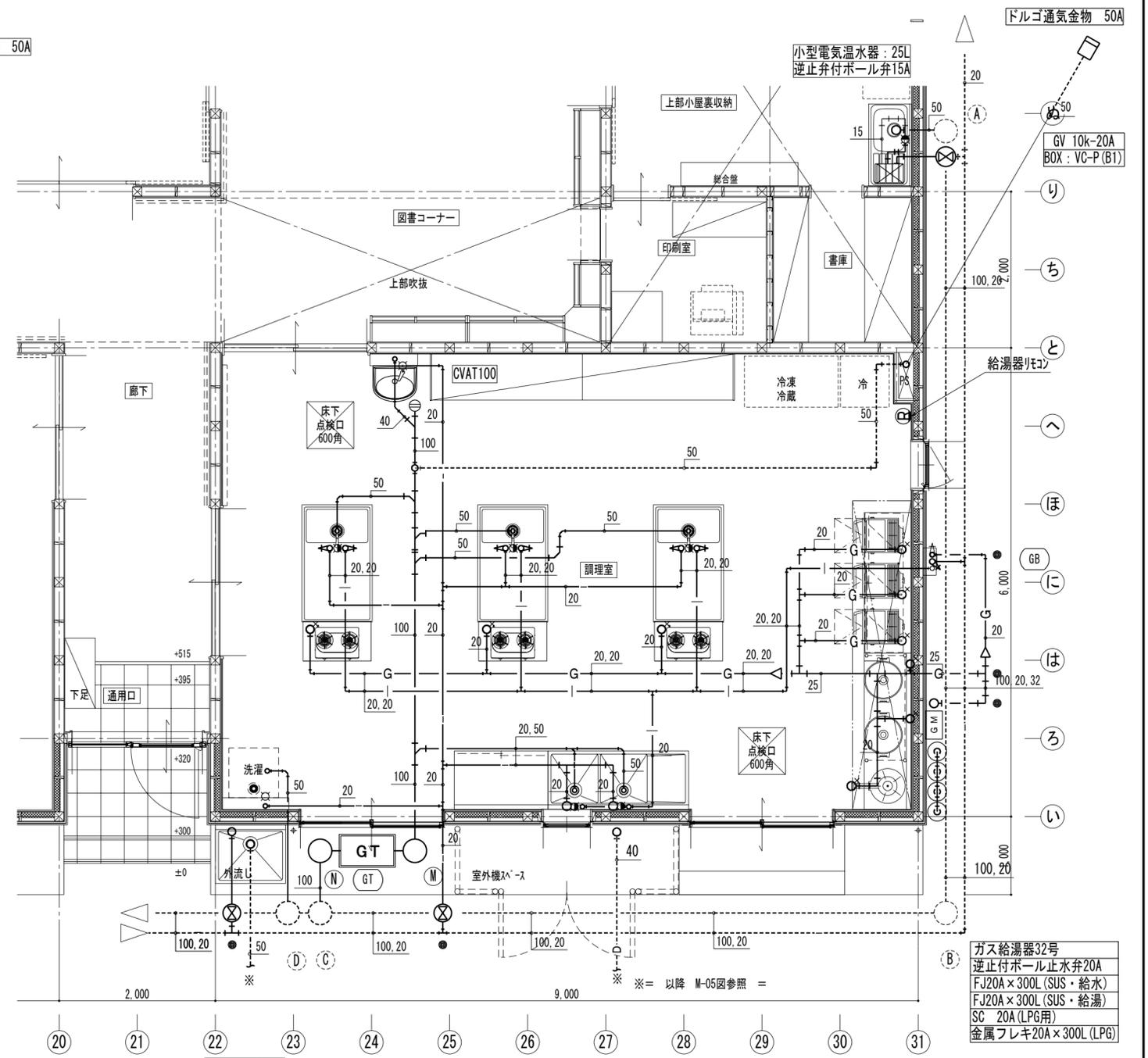
給排水衛生設備 屋内配管図 S=1:100  
 ●・・・埋設表示ピンを示す

M-06	岩井地区コミュニティセンター建設工事(機械)	給排水衛生設備 屋内配管図	SCALE S=1:100	図面縮小率 A3 70.7%
	有限会社塚田隆建築研究所	1級建築士登録第168701号 塚田 隆		2026.01



便所廻り 配管図 S = 1:50  
 ●・・・埋設表示ピンを示す

プロパンポンベ基礎参考図 S=1:50  
 (本工程)



グリストラップ (FRP製)  
 パイプ接続式 60L  
 蓋 (ステンレス製)

※ 調理機器は別途工事とする。(配管接続は本工程)  
 ※ 給水、給湯、ガス配管はコログアシ配管とする。  
 ※ ガス漏れ警報器、遮断弁コントローラは電気工事業者へ支給 (取付共) とする。

調理室 配管図 S = 1:50  
 ●・・・埋設表示ピンを示す

- ガス給湯器32号
- 逆止付ボール止水弁20A
- FJ20A×300L (SUS・給水)
- FJ20A×300L (SUS・給湯)
- SC 20A (LPG用)
- 金属フレキ20A×300L (LPG)
- ガス集合装置 (4本立)
- ガスメーター (供給業者施工)
- 自動切替調整器
- 集合管
- 転倒防止 (フック)
- 遮断弁 32A
- ガス漏れ警報器 ×1
- ガス遮断弁コントローラ ×1

M-07	岩井地区コミュニティセンター建設工事 (機械)	給排水衛生設備 調理室、便所廻り配管図	SCALE S = 1:50	図面縮小率 A3 70.7%
	有限会社塚田隆建築研究所	1級建築士登録第168701号 塚田 隆		2026.01

空調機器リスト

記号	名称	仕様	参考電気容量			数量	設置場所・備考				
			φ	V	出力 (kW)						
ACP-1	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	天吊形、同時ツイン (224形)、インバーター方式			3	200	COMP	4.60	2	多目的交流室(大会議室)
		能力	冷房：20.0kW、暖房：22.4kW					FAN(内)	0.160×2		
		付属品	ワイヤードリモコン、センサーキット、ロングライフフィルター、ドレンアップ機能					FAN(外)	0.150×2		
			冷媒用分岐管、室外機用鋼製架台300H、室外機用転倒防止鋼材、他付属品共								
			*室内機パネル色：茶色（ブラウン系） 製造者標準品若しくは塗装工事とする								
		消費電力	冷房定格：6.31kW、暖房定格：5.88kW								
ACP-2	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	1方向天井カセット形、(56形)、インバーター方式			1	200	COMP	0.90	2	小会議室(中)
		能力	冷房：5.0kW、暖房：5.6kW					FAN(内)	0.095		
		付属品	ワイヤードリモコン、化粧パネル、ロングライフフィルター、ドレンアップ機能					FAN(外)	0.04		
			室外機用鋼製架台300H、室外機用転倒防止鋼材、他付属品共								
			消費電力	冷房定格：1.33kW、暖房定格：1.42kW							
ACP-3	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	1方向天井カセット形(80形)、インバーター方式			1	200	COMP	1.60	1	小会議室(小)
		能力	冷房：7.1kW、暖房：8.0kW					FAN(内)	0.095		
		付属品	ワイヤードリモコン、化粧パネル、ロングライフフィルター、ドレンアップ機能					FAN(外)	0.060		
			室外機用鋼製架台300H、室外機用転倒防止鋼材、他付属品共								
			消費電力	冷房定格：2.09kW、暖房定格：2.45kW							
ACP-4	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	4方向天井カセット形、同時ツイン(224形)、インバーター方式			3	200	COMP	4.60	1	調理室
		能力	冷房：20.0kW、暖房：22.4kW					FAN(内)	0.120×2		
		付属品	ワイヤードリモコン、センサーキット、ロングライフフィルター、ドレンアップ機能					FAN(外)	0.150×2		
			冷媒用分岐管、室外機用鋼製架台300H、室外機用転倒防止鋼材、他付属品共								
			消費電力	冷房定格：5.33kW、暖房定格：4.96kW							
MAC-1	マルチエアコン 室外機	型式	室外機(160形)、インバーター方式			3	200	COMP	4.66	1	事務室、ホール系統室外機
		能力	冷房：14.0kW、暖房：16.0kW					FAN(外)	0.26		
		付属品	冷媒用分岐管、遮断弁ユニット、他付属品共								
			室外機用鋼製架台300H、室外機用転倒防止鋼材								
	消費電力	冷房定格：4.35kW、暖房定格：5.20kW									
MAC-1-1	マルチエアコン 室内機	型式	4方向天井カセット形(80形)			3	200	FAN(内)	0.53	1	事務室
		能力	冷房：8.0kW、暖房：9.0kW								
		付属品	ワイヤードリモコン、化粧パネル、ロングライフフィルター、ドレンアップ機能								
			他付属品共								
MAC-1-2	マルチエアコン 室内機	型式	4方向天井カセット形(71形)			3	200	FAN	0.53	1	ホール
		能力	冷房：7.1kW、暖房：8.0kW								
		付属品	ワイヤードリモコン、化粧パネル、ロングライフフィルター、ドレンアップ機能								
			他付属品共								

【特記事項】

1. エアコンの冷暖房能力はJIS標準条件(JIS B 8616)とし、記載数値以上を採用する。
2. エアコンはグリーン購入法適合品とする。
3. 室外機の鋼製架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
4. 空調機は高効率空調機を採用とし、高調波対策は不要とする。

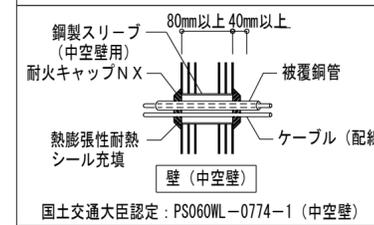
特記事項

- ・冷媒管、ドレン管、制御線は採用する採用メーカーの仕様に合わせる。
- ・エアコンの室内外機への電源線は電気設備工事とする。
- ・エアコンの室内外機の制御線は冷媒管共巻施工とする。
- ・エアコンの屋内・屋外露出冷媒管は樹脂製保温化粧ケース仕上げとする。
- ・屋内のドレン管はグラスウール厚20mmにて防露施工を行う。
- ・114条区画の配管貫通部は建築基準法施行令に基づき施工すること。
- ・基礎ボルトは採用メーカーの耐震計算書によって仕様を決定すること。

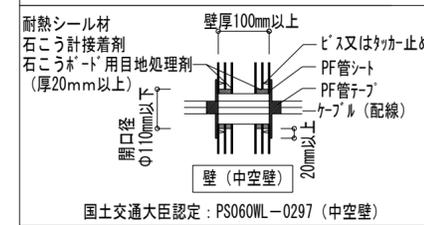
凡例

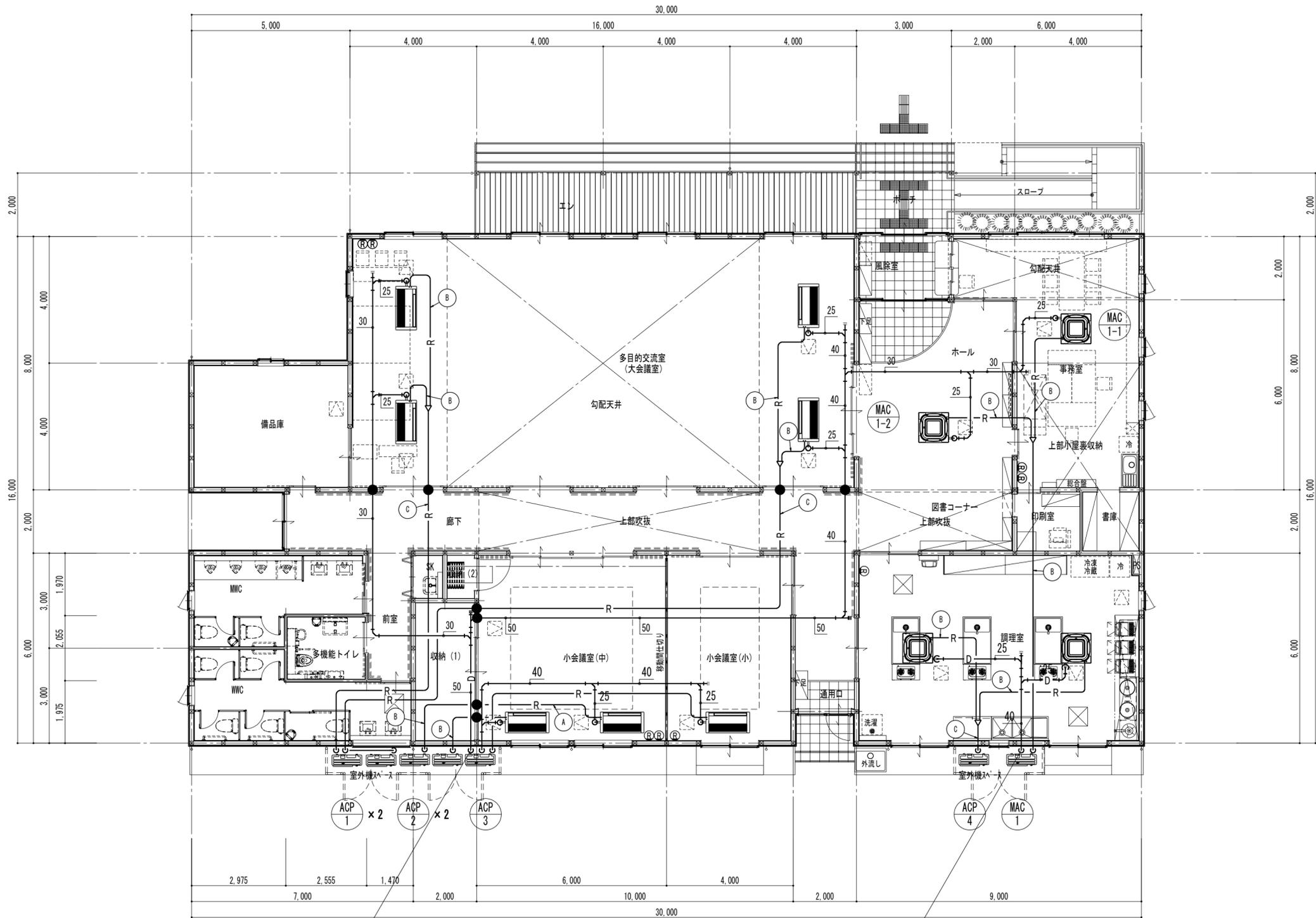
記号	名称	摘要
— R —	冷媒管	冷媒配管用被覆断熱鋼管
— D —	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
●		114条区画貫通処理を示す(配管・配線)

冷媒管114条区画貫通処理金具参考図

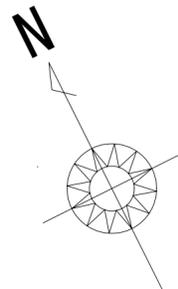


ケーブル 114条区画 貫通処理金具参考図





そ  
れ  
た  
よ  
か  
わ  
き  
る  
ぬ  
り  
ち  
と  
へ  
ほ  
に  
は  
ろ  
い



= 以降 M-05・M-06図参照 =

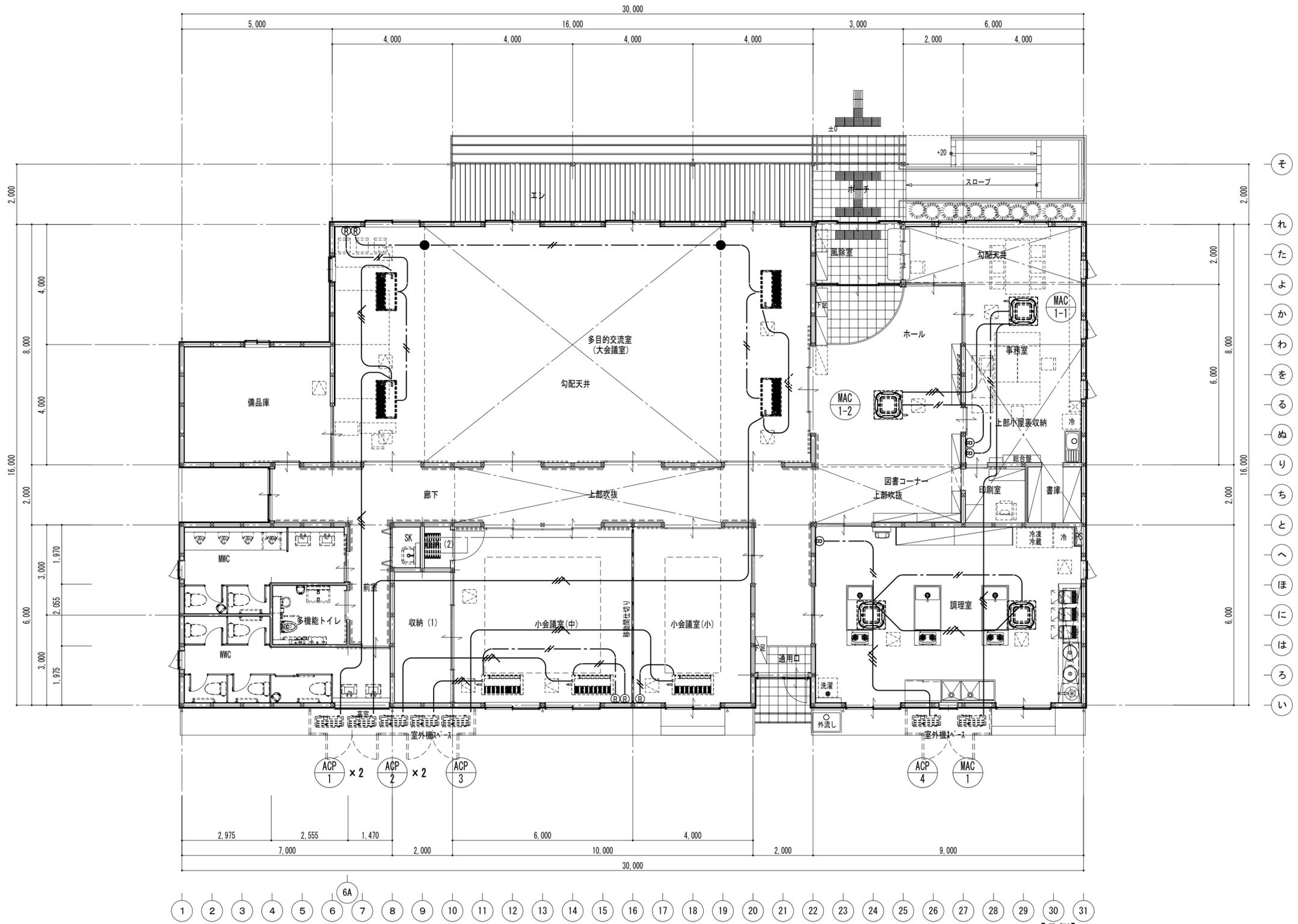
冷暖房設備 屋内配管図 S=1:100

天井点検口450φ (建築工事) を示す

= 以降 M-05・M-06図参照 =

冷媒管サイズ		
記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.70φ
Ⓑ	9.52φ	15.88φ
Ⓒ	9.52φ	25.40φ

M-09	岩井地区コミュニティセンター建設工事 (機械)	冷暖房設備 屋内配管図	SCALE S = 1:100	図面縮小率 A3 70.7%
	有限会社塚田隆建築研究所	1級建築士登録第168701号 塚田 隆		2026.01



冷暖房設備 屋内配線図 S=1:100

天井点検口450口(建築工事)を示す

【凡例】

EM-EF2.0-3C E1.6	露出(冷媒管共巻)	室内外機渡り	新設
※電源・操作線兼用タイプ			
EM-MEES0.75'-2C		リモコン線	新設

特記なき場合、下記による

岩井地区コミュニティセンター建設工事(機械)	冷暖房設備 屋内配線図	SCALE S=1:100	図面縮小率 A3 70.7%
M-10	有限会社塚田隆建築研究所 1級建築士登録第168701号 塚田 隆		2026.01

換気機器リスト

記号	名称	仕様	参考電気容量		数量	設置場所・備考
			φ	V		
FE-1	排気ファン	形式	ストレートシロッコファン、厨房用		1	調理室(フード①)
		風量	φ250×1580m <sup>3</sup> /h×200Pa			
		付属品	天吊金具、コントロールスイッチ(単ノッチ)、グリズフィルター SUS製深形フード250φ(ワイド水切り・ギャラリ・防虫網付)共			
FE-2	排気ファン	形式	ストレートシロッコファン、厨房用		1	調理室(フード②)
		風量	φ250×1620m <sup>3</sup> /h×200Pa			
		付属品	天吊金具、コントロールスイッチ(単ノッチ)、グリズフィルター SUS製深形フード250φ(ワイド水切り・ギャラリ・防虫網付)共			
FE-3	排気ファン	形式	天井埋込形換気扇、低騒音形、インテリア格子タイプ		1	事務室、ホール
		風量	φ150×390m <sup>3</sup> /h×70Pa			
		付属品	天吊金具、SUS製深形フード150φ(ワイド水切り・ギャラリ・防虫網付)共			
FE-4	排気ファン	形式	天井埋込形換気扇、低騒音形、インテリア格子タイプ		1	調理室
		風量	φ150×270m <sup>3</sup> /h×50Pa			
		付属品	天吊金具、SUS製深形フード150φ(ワイド水切り・ギャラリ・防虫網付)共			
FE-5 (24時間換気)	排気ファン	形式	天井埋込形換気扇、低騒音形、インテリア格子タイプ		1	調理室
		風量	φ150×310m <sup>3</sup> /h×70Pa			
		付属品	天吊金具、SUS製深形フード150φ(ワイド水切り・ギャラリ・防虫網付) コントロールスイッチ(強・弱)共			
FE-6	排気ファン	形式	天井埋込形換気扇、低騒音形、インテリア格子タイプ		1	多目的交流室(大会議室)
		風量	φ200×485m <sup>3</sup> /h×80Pa			
		付属品	天吊金具、SUS製深形フード200φ(ワイド水切り・ギャラリ・防虫網付)共			
FE-7	排気ファン	形式	天井埋込形換気扇、低騒音形、インテリア格子タイプ		1	小会議室(小)
		風量	φ150×240m <sup>3</sup> /h×70Pa			
		付属品	天吊金具、SUS製深形フード150φ(ワイド水切り・ギャラリ・防虫網付)共			
FE-8	排気ファン	形式	天井埋込形換気扇、低騒音形、インテリア格子タイプ		1	小会議室(中)
		風量	φ150×360m <sup>3</sup> /h×100Pa			
		付属品	天吊金具、SUS製深形フード150φ(ワイド水切り・ギャラリ・防虫網付)共			
FE-9	排気ファン	形式	天井埋込形換気扇、低騒音形、インテリア格子タイプ		1	多機能トイレ
		風量	φ100×135m <sup>3</sup> /h×50Pa			
		付属品	天吊金具、SUS製深形フード100φ(ワイド水切り・ギャラリ・防虫網付)共			
FE-10 (24時間換気)	排気ファン	形式	天井埋込形換気扇、低騒音形、インテリア格子タイプ		1	MWC、WWC
		風量	φ150×460m <sup>3</sup> /h×100Pa			
		付属品	天吊金具、SUS製深形フード150φ(ワイド水切り・ギャラリ・防虫網付) コントロールスイッチ(強・弱)共			
FS-1	給気ファン	形式	ストレートシロッコファン、給気用		1	調理室
		風量	φ250×1380m <sup>3</sup> /h×220Pa			
		付属品	天吊金具、コントロールスイッチ(単ノッチ)、グリズフィルター SUS製薄型ベンドキャップ300φ(ギャラリ・防虫網付)共			
OA-1	自然給気ユニット	形式	φ100、シャッター開口面積調節付、過給気防止装置付 外気清浄フィルター付		7	各居室
OF-1	エア搬送ファン	形式	インテリアタイプ		1	多目的交流室(大会議室)
		付属品	コントロールスイッチ(強弱ノッチ用)付			

- 【特記事項】
- SUS製深形フードはギャラリ・防虫網付、ワイド水切りタイプとし指定色塗装品とする。
  - SUS製ウェザーカバーは防虫網付とし指定色塗装品とする。
  - 換気機器の一次側電源工事及びスイッチ取付・配線配管工事は電気工事とする。
  - 24時間換気の換気機器用スイッチには、24時間換気シールを貼ること。

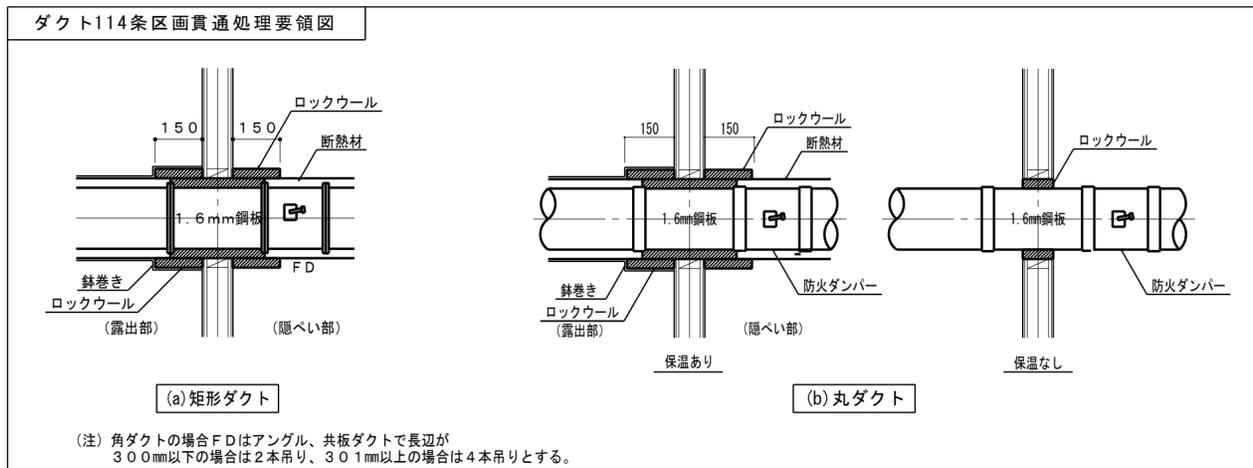
シックハウス計算書

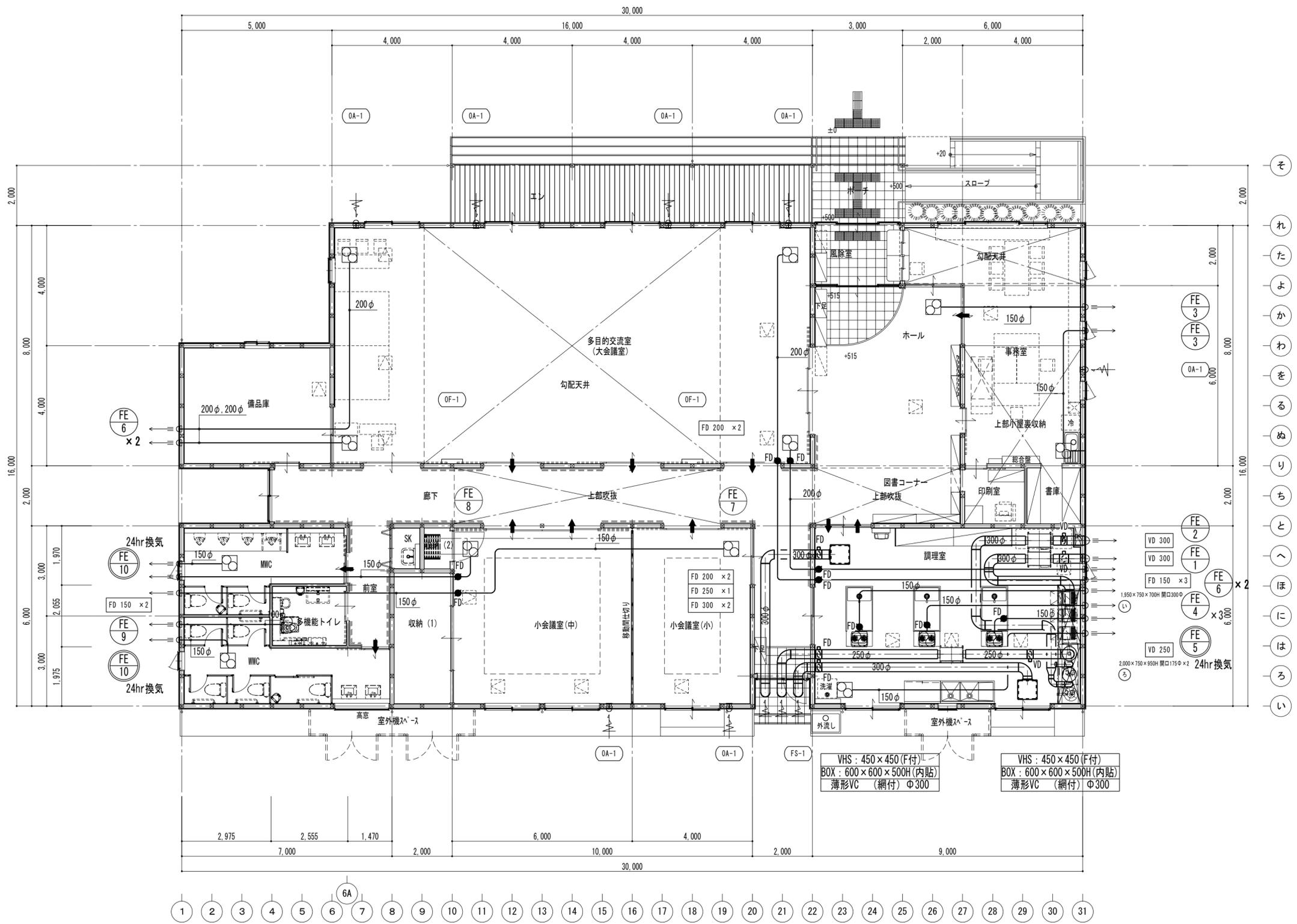
室名	面積 (m <sup>2</sup> )	平均天井高さ (m)	気積 (m <sup>3</sup> )	換気回数 (回/h)	必要換気量 (m <sup>3</sup> /h)	換気の種類	給気機による給気量 (m <sup>3</sup> /h)	排気機による排気量 (m <sup>3</sup> /h)	換気回数 (回/h)	判定	備考		
多目的交流室	128.00	3.325~5.675	505.81	0.3	406.323	第3種	自然給気ユニット						
小会議室(小)	24.00	2.7/3.0	66.94				自然給気ユニット						
小会議室(中)	36.00	2.7/3.0	101.66				自然給気ユニット						
事務室	36.00	2.700~3.874	108.00				自然給気ユニット						
ホール(図書コーナー)	40.00	2.70~6.278	141.02										
調理室	54.00	2.70	145.80				給気口(VHS)	310.0				FE-5	
MWC	13.96	2.50	34.90						460.0			FE-10	
WWC	16.87	2.50	42.18						460.0			FE-10	
書庫	3.80	2.50	9.50										
廊下	46.00	2.700~6.278	182.62										
前室	5.92	2.70	15.98										
合計			1354.41							1230	0.908	OK	

- 各居室に給気ユニットを設け、FE-5、10換気扇にて24時間換気を行う。
- FE-5/FE-10については専用コントロールスイッチを設ける。

火気使用室換気計算

室名	フード番号	寸法	必要換気量	台数	算定式
調理室	①	SUS304 1.0t 箱型フード 1,950×750×700H 開口300φ	1,580 m <sup>3</sup> /h (給気:1,350)	1	風量(m <sup>3</sup> /h)=3,600×面積(m <sup>2</sup> )×面風速(0.3m/s) 3,600×1.95×0.75×0.3 = 1,579.5 (m <sup>3</sup> /h) ガス器具 V=30KQより V=30×0.93×18.57kW= 518.103m <sup>3</sup> /h 必要換気量 518.103 m <sup>3</sup> /h < FE-1 1,580 m <sup>3</sup> /h...OK
		グリズフィルター、ファイヤーガード共	FE-1 ガス高速オープン LPG消費量:6.19kW×2台 ガスオープン 6.19kW 計18.57kW		
	②	SUS304 1.0t 給排気一体形フード 2,000×750×950H 開口175φ×2	1,620 m <sup>3</sup> /h (給気:1,380)	1	風量(m <sup>3</sup> /h)=3,600×面積(m <sup>2</sup> )×面風速(0.3m/s) 3,600×2.00×0.75×0.3 = 1,620.0 (m <sup>3</sup> /h) ガス器具 V=30KQより V=30×0.93×34.01kW= 948.879m <sup>3</sup> /h 必要換気量 948.879 m <sup>3</sup> /h < FE-2 1,620 m <sup>3</sup> /h...OK
		グリズフィルター、ファイヤーガード共	FE-2 鍋物ガスコンロ LPG消費量:19kW 炊飯器:4.71kW 炊飯器 10.3kW 計34.01kW		
			270 m <sup>3</sup> /h (給気:690)	3	フードなし 定数40 *天井換気扇それぞれにFDを設けること ガス器具 V=40KQより V=40×0.93×6.10kW= 226.92m <sup>3</sup> /h 必要換気量 226.92 m <sup>3</sup> /h ×(余裕率)1.15 = 270m <sup>3</sup> /h 必要換気量 270 m <sup>3</sup> /h < FE-4 270m <sup>3</sup> /h...OK
					FE-4 調理実習台 LPG消費量:6.10kW ×3台





換気設備 屋内ダクト図 S=1:100

□・・・天井点検口450口(建築工事)を示す  
 →・・・24時間換気の換気経路を示す

M-12	岩井地区コミュニティセンター建設工事(機械)	換気設備 屋内ダクト配管図	SCALE S = 1:100	図面縮小率 A3 70.7%
	有限会社塚田隆建築研究所	1級建築士登録第168701号 塚田 隆		2026.01

